

天 沼 中 学 校

世界への窓を開く学校図書館

今の学校図書館

- ・ 目指す生徒像として、「主体的に考え判断し、責任をもって行動できる」(自主)や、「自他の存在を尊重し、家族や友人、地域を大切にする」(共生)等を掲げていることから、生徒の学びを深め、心を育てるような学校図書館を目指している。
- ・ 学校支援本部主催の勉強会や英語カフェの会場になるなど、地域との連携が密であり、学びの教室、日本語指導の場として、広く開かれた学びの場となっている。

学校図書館の運営

- ・ 授業における学校図書館活用のため、学校図書館活動年間指導計画、教科書に関連する資料リストを作成している。
- ・ 学習中の単元に関連した内容の本を展示している。
- ・ 英語のほか、様々な言語の本にアクセスできる「多言語コーナー」を設置し、多様なルーツをもつ生徒に資料提供を行っている。
- ・ 学校図書館活動の校内報告として、職員向けの図書だよりを年2回発行している。
- ・ 学習面の利用を考えた蔵書を構成している。

1年間の主な活動

- ・ 図書委員会の活動として、おはなし会を実施。
- ・ 杉並区書評座談会に参加。
- ・ 読書月間を年1回実施。
- ・ 「本の福袋」「読書スタンプラリー」「本みくじ」などの企画を実施。
- ・ 学校のホームページの中で、学校図書館の活動を紹介。
- ・ 学校図書館サポーターが、受入待ちの本の装備等を支援。

特色ある取組

- ・ 小中一貫教育 AKA の研修会に参加。その他、小中連携活動として、おすすめの本を紹介するポップを生徒が作成し、各校で巡回展示を行っている。



- ・ 図書委員会のイベントとして実施するおはなし会には、毎回約50人の生徒が参加している。



- ・ 「ことだま百選」のコーナーを設置している。

これからの学校図書館

これまでは理科や国語の授業支援が多かったが、令和7年度には英語の授業で探究型学習を行うなど、利用される科目や学年が少しずつ広がってきている。これまでの取組を足掛かりとして、今後は必要な資料をそろえ、また学校図書館が活発に利用されるよう、校内での働きかけを続けていきたい。

おはなし会の実施や書評座談会への参加等、学校の中で定着しつつある取組が、生徒の読書の幅を広げ、内容の深いものとなるよう、実施の仕方を工夫していきたい。